

令和4年度 第1回教育課程連携協議会 議事録

日時：令和4年9月14日(水)15:00～16:00

場所：アール医療専門職大学 体育館・講義棟1階

参加者：中徹学部長・中村茂美学科長（作業療法学科）・渡邊隆明(土浦市高齢福祉課)・白鳥俊幸

(行方市市民福祉部)・宮山敬子(茨城県水戸特別支援学校)・山倉敏之(筑波記念病院)・佐

藤弘行(茨城県リハビリテーション専門職協会)・瀧田昌孝(茨城県私立幼稚園・認定こども

園連合会)・大場耕一(茨城県作業療法士会)・浅川育世(茨城県理学療法士会)

柳久子学長(開会挨拶のみ参加)

議事録：坂本晴美(教育課程連携協議会事務局)

1. 開会挨拶：学長 柳久子

2. 協議会開催について：学部長 中徹

3. 構成員自己紹介

4. 資料の確認

5. 議事

(1) 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設、その他の教育課程の編成に関する基

本的な事項

本学の教育課程の概要を設立趣旨の二つの特徴から解説した。

(2) 産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的

な事項及びその実施状況の評価に関する事項

本学の教育課程の中において産業および地域連携が求められる科目について解説した。

(3) その他

今後具体的な意見のやり取りにより、連携が実質化できるお願いをした。

6. 質疑応答

浅川様：134 単位と単位数が多くなったのには、専門職大学の傾向なのか？

【回答】他の専門職大学に比して少ない傾向にある。

浅川様：早期体験実習・地域理学療法学などが特徴的であるが、もっと特徴的な科目が集団

支援論・サクセスフルエイジング論・子ども支援論などの科目であるが、「選択科

目」なのが非常に惜しいと感じてしまう。

【回答】総単位数における必修選択バランスの結果でこのようであるが、履修指導で

対応してまいりたい。

宮山様：早期体験実習について、校長会で周知があった。早期体験実習という専門職を受け

入れるというのが、初めての取り組みなので楽しみにしている。現在、支援学校

は、ギガスクール構想が進められ、デジリハというのが勧められている。テクノロ

ジーが加速度的に進んでいる。

【回答】実質的に連携がすでに実践している段階にあり、ありがたいと感ずる。

大場様：学生の教育として、卒後研修も意識して教育していただけると有難い。また、再来年
が子どもに対する支援における建付け・制度が変わる見込みがあり、「心理学」履修
も検討していただけるといい。

【回答】心理学領域の科目については解釈を確認する。

7. 次回開催日程案：令和5年3月頃

8. 閉会

